

生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金対象の施設整備計画概要

○事業名 歴史ある無人駅舎柳本駅観光・地域交流拠点施設整備プロジェクト

○総事業費 48,040 千円（交付金対象事業費 46,040 千円）

財源内訳（予定）

- ・交付金（1/2） 23,019 千円
- ・起債額 18,500 千円
- ・一般財源 6,521 千円

○事業の概要

万葉まほろば線の沿線活性化のため、平成 31 年春から新車両を順次投入する JR 西日本からこの度、地域活性化に向け柳本駅舎の利活用の提案をいただき、本市では駅を地域のにぎわい創出、また、もてなしの活動拠点となるよう再整備する。改修駅舎において地元産品や天理ブランド商品を販売するとともに、ギャラリースペースでは大学生等が企画するアート展示を行い、地元コミュニティの醸成とアートによる潤いを生み出すことで、柳本駅は単なる交通乗降場所から地域の賑わいの拠点に生まれ変わる。市外からの来訪者と地域住民とのコミュニケーションが高まり、産業振興、観光振興による好循環と地域活性化の拠点となることで地域経済循環の促進を図り、併せて地域に定着する人材の育成を果たすことで生産性革命に資する。

・駅舎改修費及び西改札口の新設（43,163 千円）

駅舎の古き良き風情は残しつつ、地域住民の多世代交流や周遊観光の拠点とし、地元産品や天理ブランド商品の販売スペースやギャラリーを兼ねた交流・待合スペースへと改修する。

また、柳本駅西側の改札口新設に向け JR 西日本と協議を進めており、バリアフリーのためのスロープ及びサイクルラックを整備することにより、唐古・鍵遺跡（田原本町）や橿原・飛鳥など、柳本駅を起点又は終点とした市域を超えた周遊観光を促進するとともに駅西地区周辺住民の利便性向上を図る。

・駅舎の風情を活かしたショップ・ギャラリー内装整備（4,877 千円）

アート展示やギャラリーを兼ねた待合・交流スペースを駅舎の雰囲気を活かしながら地元産品や天理ブランド品の販売スペースにふさわしい内装・備品を大学生等と連携して製作する。

○工事予定期間

平成 30 年度内